

## 得する街のゼミナール 長岡まちゼミ に 行ってきました！

まずはじめに、

### 「まちゼミ」とは

得する街のゼミナールを略したもので、商店街のお店が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コツを無料で受講者（お客様）にお伝えする少人数制のゼミのことです。

長岡市では、平成26年から長岡まちゼミ実行委員会（長岡市商店街連合会内）が開催しています。

長岡まちゼミホームページ  
→[www.nagaoka-machizemi.com/](http://www.nagaoka-machizemi.com/)

つぎはいよいよ、

### 「まちゼミ」に行ってきました！

第6回長岡まちゼミ（2月1日～28日開催）の「美味しいパンの見分け方」講座に参加してきました。

この講座は、東坂之上町にある老舗パン屋「福泉堂」さんが、店内を会場に行う、定員6名の講座でした。

会場として、店内のレジ裏のスペースを利用していたため、パンの良い香りや商



品を買いに来たお客様とお店の人の様子を肌で感じることができ、教室とは違う、営業しているお店を会場にした「まちゼミ」ならではの醍醐味を味わうことができました。

講座は、パンの歴史やおいしいパンの見分け方のポイントなどについて、試食を交えながら、なごやかな雰囲気でお話を聞くことができました。

つづいては、

### 「まちゼミ」講師に聞いてみました！

今回、参加した講座のお店は、長岡まちゼミの第1回から参加しているそうです。そこで、「まちゼミ」について聞いてみました。

Q.「まちゼミ」に参加するお店のメリットは？

A.お客様にお店に来てもらい、商品を知ってもらうことができる貴重な機会。その時に、商品を気に入ってもらえれば、リピーターとなる可能性もあります。更に、お客様の声を直に聞くことができます。

Q.講座開催のための事前準備は？

A.講師として受講者に話をしなければならないため、改めてパンについて勉強しました。これにより、自分自身の知識も増え、自分が理想としているパンがどんなものかを再確認することができました。

さいごに、

### 中央図書館の応援企画を紹介します

平成28年度の「まちゼミ」は終了しましたが、中央図書館では、まちゼミの開催に合わせて、特設コーナーを設けました。ここには、開催される講座のテーマに関連した図書館所蔵のブックリストを置くほか、その中で紹介しているお薦めの本を一部展示しました。多くの方からご利用いただき好評でした。

平成29年度の「まちゼミ」でも実施します。ご期待ください。

長岡市立図書館ホームページ  
→<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/>

# ビジネスのヒントは図書館にあり

## ビジネス情報を図書館で手に入れる!

中央図書館ではビジネスシーンで役立つ図書を集めた、「ビジネス図書コーナー」を設けています。会社・業界情報や、仕事術・スキルアップなど、実用的な図書を幅広く揃えています。今回も新しい本の中から、おすすめの図書をご紹介します。

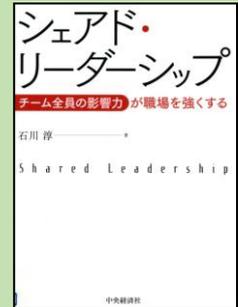


### 『シェアド・リーダーシップ チーム全員の影響力が職場を強くする』

石川 淳／著 中央経済社

シェアド・リーダーシップとは、職場全体の目標達成のために誰もが必要なときにリーダーシップを発揮することを指します。自ら考え、自主的に動くという土壌ができあがっている日本の組織では、多くの場面で、その人なりのリーダーシップが発揮できます。この本では、実際の失敗例や成功例を具体的に紹介しています。

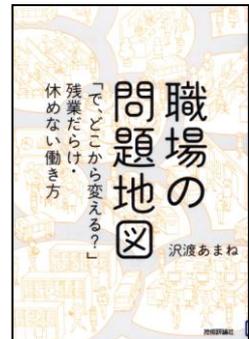
コミュニケーションをとり、信頼関係を築きあげ、誰もがリーダーシップを発揮する職場を目指したくなる1冊です。



### 『職場の問題地図 「で、どこから変える?」 残業だらけ・休めない働き方』

沢渡 あまね／著 技術評論社

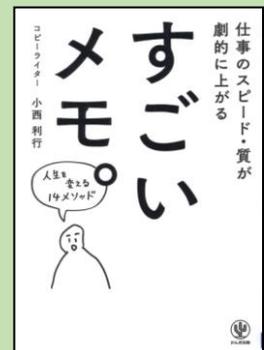
“問題発見と改善で業務効率アップ! 目指せ定時退社!” 目標は掲げたけれど、そもそもどこにどういった問題が潜んでいるのかを見つけるのは容易ではないはず。この本ではどんな職場にもありうる11種の問題を例示しながら、業務改善・生産性向上に向けて一人でも取り組めるポイントや全員で考えたいことが要点を絞って解説されています。職種や役職にかかわらず、本当の意味でワークライフバランスを向上させるためのヒントが満載です。



### 『すごいメモ。仕事のスピード・質が劇的に上がる 人生を変える14メソッド』

小西 利行／著 かんき出版

メモは大事と思ってはいても、面倒だったり後から見直しても意味不明だったり、うまく活用できないのが現状ではないでしょうか。本書では未来の自分に向けた「未来メモ」により、メモを最大限活用する方法を教えてください。「未来メモ」は、コピーライターとして活躍する著者が編み出したもので、仕事の効率をあげるだけでなく、新しいアイデアが思い浮かず困った時にも役立ちます。読後、無性にメモを取りたくなるかも。



\* 貸出中の場合もあります。ご希望の方は予約も承っております。お近くの図書館までお気軽にお問い合わせください。

未来を見据える若者たちへ…

# 若者しごと応援コーナー おすすめ本

「若者しごと応援コーナー」については  
第7号をご覧ください！

前号で紹介した「若者しごと応援コーナー」より、おすすめの図書をご案内します！進路に悩みなさんの道しるべとなるよう、職業情報や働き方を考える本、就活に役立つ内容や仕事テーマの小説などを揃えていますので、ぜひこの機会に若者しごと応援コーナーに足を運んでみてください。



## 『ローカル仕事図鑑 新天地のハローワーク 人生を変える働き方』 DECO/編 技術評論社

「気に入った土地や地元で働きたい。」と考える人も多いと思います。この本では、実際に地方に移り住み、仕事を始めた人々を扱っています。農家や杜氏、和ろうそく職人など非常に幅広い仕事を豊富な写真とインタビューに基づく記事で紹介しており、読むだけでも楽しい一冊です。また、初期費用や年収、労働時間などについても触れられており、実際に地域で仕事をしたい人の参考にもなります。これからの仕事生活について考えてみませんか。



## 『パラレルキャリア 新しい働き方を考えるヒント100』 ナカムラ クニオ/著 晶文社

「パラレルキャリア」とは、本業の仕事とは別に自分がやりたい仕事を実現し、互いの相乗効果で生きがいを感じる働き方のこと。もともとはピーター・ドラッカーが提唱した新しい働き方のひとつです。著者はまさにそのパラレルキャリアを人生に取り込んだ人物。本書ではその働き方のヒント100を紹介。働くこと＝幸せになることの新しい定義が見つかるかも知れません。



## 『小商いのはじめかた 身の丈にあった小さな商いを自分ではじめるための本』 伊藤 洋志/監修 風来堂/編 東京書籍

小商いは大きな儲けは見込めない。それでも、自分が活躍しながら自分の欲しいものをつくるというのが小商いの最大の特徴であり魅力だといえる。この本で紹介された柿渋染めの小物を販売する店主は、「たとえ小さな規模でも自分たちの手でお金を得る手段を新たに生み出してゆくことは、とても意味がある」と語っている。今までのビジネスからは外れながらも、自分が納得した形で働くことができる姿にあこがれる。





## 長岡の歴史人物産業こぼれ話（1）

～高山喜代蔵（たかやま きよぞう）と高山英華（たかやま えいか）～

明治34年（1901）、高山喜代蔵は宝田石油会社社長の山田又七に認められ、三十代半ばで新任支配人となりました。その後、宝田石油の発展に伴い「石油界の偉傑、宝田石油会社の重鎮たり、機略縦横経営の人なり」といわれました。高山は現在の千葉県茂原市に生まれ、酒好きで、愛嬌に皮肉をいい、座興に悪口をいったそうです。あまりに直感による発言で、時として誤解を招きましたが、部下には慕われていました。明治43年に諸事情で宝田石油会社を去りましたが、その直後に転居先の東京の高輪で生まれた5男が高山英華でした（喜代蔵は英華が小学1年生の時に亡くなりました）。



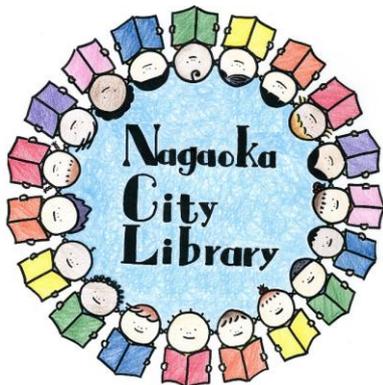
▲高山喜代蔵

東京大学名誉教授で、近代都市計画学の創始者といわれた高山英華は、昭和21年（1946）、長岡空襲後の長岡市の戦災復興都市計画を担当しました。その計画は多雪都市であることが重視されたものでした。長岡出身でなくても長岡のまちづくりなどに影響を与えた人物は数多くいます。高山喜代蔵と高山英華は、長岡市民にとって知る人ぞ知る人物といえます。（K）

参考文献：『房総医家名鑑：附・房総人物名鑑』木村清吉／編 1912、『宝田二十五年史』宝田石油株式会社臨時編纂部／編 1920、『東京の都市計画家 高山英華』東秀紀／著 2010

図書館に関する情報を多くの人たちに発信するために、平成28年10月より長岡市立図書館 Facebook ページを開設しています。

このページでは、講演会や講座、子ども向けのおはなし会など、図書館が主催するイベントの情報を掲載しています。また、館内に設置している時事コーナーやテーマコーナーなど、図書の情報についても紹介しています。



図書館の情報がタイムリーに更新されているので、ぜひご覧ください。

**Facebook ページ URL**

<https://www.facebook.com/lib.nagaoka/>



QR コード



### 【編集後記】

長岡市立図書館のフェイスブックはご覧いただけましたか。担当職員が図書館の魅力を発信すべく、日夜頑張っています。ぜひ、この機会に一度お手持ちのスマホで見てみてください。みなさんからのメッセージや「いいね！」をお待ちしています。（H）

平成29年3月15日発行

編集・発行：長岡市立中央図書館

〒940-0041 新潟県長岡市学校町1-2-2

TEL 0258-32-0658 FAX 0258-32-0664

E-mail: lib@city.nagaoka.niigata.jp

ビジネス支援の情報は下記からどうぞ

<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>